

レジメン名 : FOLFIRI＋ベパシズマブ 2週毎(ポンプ)

疾患名 : 大腸がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日間

総コース数 : PDになるまで

特記事項 : UGT1A1の測定

投与 順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/㎡, V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp.	1 生食100mL	1	瓶	点滴静注・メイン	15分	Day1	ルート確保用
	2 ハロ/セトロン点滴静注パック0.75	1	袋	点滴静注・ メイン	15分	Day1	
	デキサート6.6mg	1	瓶				
	デキサート1.65mg	2	管				
	3 ベパシズマブ	5	mg/kg	点滴静注・ メイン		Day1	初回90分、2回目60分、3 回目以降30分まで短縮可
	生理食塩液 100mL	1	本				
	4 5%ブドウ糖 250mL	1	袋	点滴静注・ メイン	2時間	Day1	イリノテカンと同時に2時間で 投与
	レボホリナート	200	mg/㎡	点滴静注・ 側管	2時間	Day1	レボホリナートと同時に2時間 で投与
	5 イリノテカン	150	mg/㎡	点滴静注・ メイン	急速静注	Day1	レボホリナート終了後、 全開で投与
	生理食塩液 250mL	1	袋				
	6 フルオロウラシル	400	mg/㎡	インヒューサー ポンプ	46時間	Day1	ボーマスのフルオロウラシル終了 後46時間で投与 全量140mLとする
	生食 50mL	1	本	点滴静注・メイン		Day3	持続のフルオロウラシル終了後使用、フ ラッシュ用
	7 フルオロウラシル	2400	mg/㎡				
	生食 100mL	1	本				
	8 生食シリンジ20mL	1	本				

減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
白血球減少	2,000/mm ³ 未満	イリノテカン	減量(割合についての記載なし)
	1,000/mm ³ 未満		中止
好中球減少	1,000/mm ³ 未満		減量(割合についての記載なし)
	500/mm ³ 未満		中止
下痢	水様便		減量(割合についての記載なし)
	出血、脱水、電解質異常を 伴う		中止

参考文献

- ①大腸癌治療ガイドライン 医師用 2019年版
- ②制吐薬適正使用ガイドライン2015年10月(第2版)
- ③改訂第6版がん化学療法レジメンハンドブック
- ④イリノテカン適正使用ガイド「NP」